

平成 17 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社 SANKYO  
代表者名 代表取締役 毒島 秀行  
社 長  
(コード番号 6417 東証第 1 部)  
問合せ先 常務取締役 筒井 公久  
経営企画室長  
(TEL.03-5778-7773)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 11 月 15 日の中間決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 通期連結業績予想の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	159,000	48,000	29,000
今 回 修 正 予 想 ( B )	230,000	72,000	44,000
増 減 額 ( B - A )	71,000	24,000	15,000
増 減 率 ( % )	44.7%	50.0%	51.7%
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	151,726	46,546	27,294

#### 2. 通期単独業績予想の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	155,000	45,000	27,000
今 回 修 正 予 想 ( B )	228,000	64,000	39,000
増 減 額 ( B - A )	73,000	19,000	12,000
増 減 率 ( % )	47.1%	42.2%	44.4%
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	140,825	41,528	24,645

### 3. 修正の理由

パチンコ機関連事業におきましては、平成 16 年 7 月の「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」等の関連改正規則の施行に伴う遊技機開発基準の重要な変更を受け、新基準対応機の開発に注力した結果、同 11 月には当社新基準機第 1 号の「フィーバー大ヤマト 2」を他社に先駆けて発売いたしました。規則改正で広がった遊技機の開発自由度を存分に活かした遊技性能に加えて、新パチンコ枠の「ルミナモデル」により盤面面積が従来比で 3 割広がったことで特大液晶画面の迫力ある映像演出を可能にした斬新で魅力あふれるパチンコ機を世に送り出すことができ、市場からも絶大な支持を獲得しました。

一方、「大ヤマト 2」に続いて 12 月に発売した当社連結子会社の株式会社ビスティの「新世紀エヴァンゲリオン」も、原作アニメのキャラクターやストーリーを忠実に再現したゲーム演出が幅広いファンの人気を集め、両機種ともに近年では記録的な販売台数を達成いたしました。

また、第 4 四半期におきましては、SANKYO ブランドの新基準機第 2 弾「フィーバースターウォーズ」を発売いたしました。現在も SF 映画の古典大作として映画ファンから根強い人気を誇る同名作品初期 3 部作との完全タイアップで、高い知名度のキャラクターや名シーンをふんだんに盛り込み同作品の世界観を表現した演出が新旧ファンの心をつかんで人気を博しています。

さらに、補給機器部門におきましても、パーラーニーズにマッチした新型カードユニットの好調な販売を、新紙幣への改刷に伴う関連機器の入替需要がさらに後押ししたことなどにより、前年通期の売上実績をすでに達成することができました。

これらにより、売上高ならびに利益ともに、中間決算発表時における計画を大幅に上回る見通しとなることから、通期の連結および単独の業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上